

鞆淵小・中学校 学校要覧

学校のように 歴史と自然がいっぱい 鞆淵八幡宮から 鞆淵小・中学校を臨む

◎ 鞆淵小・中学校教育目標

9年間を見通した教育に努め、児童生徒一人ひとりの個性を伸ばし、能力を引き出し、豊かな社会性や創造性を育成する。

また、異年齢間の活動を積極的に取り入れ、相互に学び合うことによって生きる力を養う。

Dreams Come True !



◎ 鞆淵小・中学校の目指す児童・生徒像

広い世界にむかって 自分らしさと夢を持ち、一人ひとりが輝く 山の子に！

◎ 鞆淵小・中学校の研究課題

- ・少人数の特性を生かした児童・生徒の自主学習力の向上
- ・特別支援教育に学ぶ、小中9年間を見通した教育の充実
- ・地域の特性を生かした地域連携による教育



ゴミ拾いボランティア
(小中学校生全員)



みどりの少年団活動
(中学生全員)
(鞆淵財産区のみなさん)



鞆淵八幡宮秋祭り



独居老人訪問



◎ 鞆淵小・中学校の児童生徒数 (H.23.5.1)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	学年	1年	2年	3年	合計
男	1	2	1	3	3	0	10	男	2	3 (1)	2 (1)	7 (2)
女	0	1	1	4	0	3	9	女	2	3	2	7
計	1	3	2	7	3	3	19	計	4	6 (1)	4 (1)	14 (2)

【小学校部】

【中学校部】

※ () 内は山村留学児童生徒数

※ 通学方法

小学校部・・・1学年～4学年の2 km 以上の児童はスクールバスを利用

中学校部・・・近隣は徒歩通学、他 自転車通学

本校は、和歌山県紀の川市南東部(旧粉河町)の山間に位置するへき地一級校です。学校の近くにある鞆淵八幡宮には、1,228年に京都の石清水八幡宮より贈られた神輿があり、それが国宝に指定されるなど古い歴史と豊かな伝統に生まれ、初夏には螢の乱舞が見られる山紫水明な地域です。

平成23年度には、小学生19名、中学生14名とたいへん減少しています。

昭和62年から、里親・山村留学センターを開設して、山村留学制度による複式学級回避を目指して取り組みましたが、小学校は、数年前から複式学級となっています。

学校で一番大切なことは、教職員が一致協力して組織的に何事にも対応することです。子ども達の指導では、声かけ・見守りをし、良さの発見と小さな変化を見逃さず、きめ細かな指導を行うことが大切です。授業では、基礎・基本の徹底と自分考えや意見を人前で話せる児童・生徒の育成と自主学習力の向上を目指しています。子ども達自身には、自分を鍛えましょう(頭・心・体)をスローガンに一年間を通して言い続けています。

また、学校は、地域の文化の発信地であるとともに地域の方々の支援をいただいて成り立っています。地域とともに子ども達を共有していかなければなりません。

本校では、校舎・職員室等小・中学校別々ですが、教職員が共通の教育観・指導観を持ち、発達の段階に応じたきめ細かな指導を行うために、連携して以下のことをしています。

- 小中教職員の合同朝会
- 小中教職員合同職員会議・現職教育
- 小中合同の教員部会の開催(行事・教育課程等)
- 小中児童・生徒の朝の集会(月1回)
- 小中合同縦割り班活動
- 小中教員全員の公開又は研究授業の実施
- 小中合同での学校行事、また、地域行事への参加

児童・生徒一人ひとりの成長の記録(カルテ)をつくり、小中で共有することで、学習状況を的確に把握し、生徒指導や教育相談活動で、連携・継続した指導をおこなうことで、小中連携と少人数の特性を生かしたきめ細かな指導に努めています。

また、小中教員全員による授業公開や研究授業を通じて、小学校では授業内容や複式授業について、中学校では教科ごとの授業について、それぞれが互いの校種間を理解し、連携を深めることで、子ども達の授業のつながりをスムーズにし、よく言われる中1ギャップを少なくしています。

「学校・地域・家庭の連携」を合い言葉に、学校、家庭、地域や各種団体の連携を深める取り組みに努めています。

学校では、異年齢間の活動を積極的に取り入れるとともに、地域行事に積極的に参加して、相互に学び合うことによって生きる力を養うように努めています。

